

しんじょう市議会だより

No.136

2017.5.12



ハレの入学式

平成29年3月定例会

平成28年度一般会計は
6億6,704万1千円を追加し、

総額

181億6,866万2千円に決定

本会議の審議から

3月定例会に市長から出された主な案件は、次のとおりです。

- ① 新庄市個人情報保護条例等の一部を改正する条例の設定について
- ② 新庄市市営バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ③ 財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ④ 新庄市看護師等修学資金貸与条例の設定について
- ⑤ 新庄市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について
- ⑥ 新庄市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ⑦ 新庄市屋内ゲートボール場設置及び管理に関する条例を廃止する条例の設定について
- ⑧ 平成28年度新庄市一般会計補正予算の審議が提出され合計で30件でした。慎重審議の結果、原案のとおり、1件了承、2件同意、27件を可決しました。一般会計補正予算は、歳入・歳出それぞれに6億6,704万1千円を追加し、総額181億6,866万2千円となりました。

一般会計補正予算

本会議で歳入歳出それぞれ6億6,704万1千円が追加計上されました。

補正内容の主なものは次のとおりです。

総務費

◎今後の市有施設改修のための整備基金積立の計上。〈2億4千万円〉

民生費

◎国民健康保険事業特別会計への繰出金。〈1,679万9千円〉

◎民間立保育所に勤務する保育士の処遇を改善するための経費計上。

〈5,924万6千円〉

商工費

◎新庄中核工業団地への企業誘致に係る用地取得助成金の計上。〈6,000万円〉

土木費

◎除排雪業務経費の増額。〈1億2,000万円〉

教育費

◎日新中学校の大規模改修（老朽化対策・バリアフリー化・トイレ改善・各種設備更新）の計上。〈5億2,110万8千円〉

初日に審議を行った結果、全員異議なく可決しました。

3月定例会の経過

- 3月3日(金)開会
- 4日(土)休会
- 5日(日)休会
- 6日(月)本会議(一般質問4名)
- 7日(火)本会議(一般質問4名)
- 8日(水)常任委員会(産業厚生)
- 9日(木)常任委員会(総務文教)
- 10日(金)予算特別委員会
- 11日(土)休会
- 12日(日)休会
- 13日(月)予算特別委員会
- 14日(火)予算特別委員会
- 15日(水)休会
- 16日(木)休会
- 17日(金)最終日

いよいよ
新年度のスタートじゃ。
笑顔のタネを
いっぱい播こう！



とぴっくす

政策提言

新庄市議会は地域の課題を踏まえ、よりよい新庄市にする為に政策提言作成小委員会を設け、5回にわたり検討を重ね、政策提言をまとめました。

2月22日、山尾市長に対し政策提言書を提出しました。

内容については以下のとおりです。

I. 人口減少対策について

1 企業誘致を推進し、雇用の場を確保することについて

具体的内容

- ①若者の雇用につながる企業誘致を積極的に取り組むこと。
- ②ワークライフバランスに取り組む企業に、市として国・県と連動した支援について、調査研究を行うこと。
- ③県、商工会議所、教育委員会と連携した地元企業見学会など将来の担い手育成への取り組みを強化すること。

2 結婚から出産・育児までの子育て支援について

具体的内容

- ①若者の出会いと結婚までのきっかけ作りである結婚事業の強化を民間との連携・協働・支援を各担当課の連携を図りながら一層推進していくこと。
- ②子供・子育て支援交付金の拡充を図るとともに、子育て世代包括支援センターの設置による効果的できめ細やかな子育て環境の構築を推進していくこと。
- ③身体的な障がいや知的な障がいをもつ児童生徒に対する加配対応等の拡充と自宅介護の親の肉体的・精神的な緩和を図るために、相談窓口及び託児事業の対応や更なる拡充を図ること。



II. 地域内公共交通の確保

具体的内容

- ①市内循環、また県立病院の建替えによる市内の人的な流れの変化に対して早期にデマンド交通等の地域内公共交通の確保について調査、研究すること。

III. 「道の駅」早期実現について

具体的内容

- ①農業をはじめとする地域産業振興や新庄・最上のイメージアップのため、「道の駅」の早期建設に向けた調査・研究を官民合わせた体制で進めること。

以上を市議会として政策提言としてまとめました。

一般質問

奥羽金沢温泉と山屋セミナーハウスについて



奥山省三 議員

◎奥羽金沢温泉が再開されて1年が経ちました。市は昨年12月の議会で山屋セミナーハウスの機能強化策を打ち出していますが、未だ実施されていません。いつ頃を目途に対策をとっていくのかお聞きします。

市長 東京都豊島区にある巣鴨地蔵

◎都内北区赤羽に在った当市のアンテナショップは廃止されたようですが、新しく立ち上げる計画が有ったらその内容を教えてください。

教育長 山屋セミナーハウスの機能強化の時期ということですが、昨年3月に奥羽金沢温泉が再開され、当面は経営努力により温泉を営業していくという中、市といたしましてはJA新庄市や奥羽金沢温泉の動向を注視していかざるを得ないと考えております。その動向を注視していく中において、山屋セミナーハウスの機能強化につきましても時期を逸することなく、対応していかなければならぬものと考えております。



一般質問

一般質問は、3月6日と7日の2日間、8名の議員が行いました。
質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

3月定例会一般質問の質問者と質問事項

奥山 省三

1. 奥羽金沢温泉、山屋セミナーハウスについて
2. 住宅支援事業について
3. アンテナショップについて

小関 淳

1. 職員の健康維持と、生き生きと働くことのできる職場づくりについて

今田 浩徳

1. やまがた森林ノミクスとの連携強化策の推進について

小嶋 富弥

1. 地域医療について
2. 市体育館について
3. 学校教育について

叶内 恵子

1. 市内経済の活性化について
2. 5歳児健康診査の必要性について

高橋 富美子

1. 最上伝承野菜の取り組みについて
2. 受動喫煙防止対策について
3. 公立図書館の役割と重要性について

佐藤 悦子

1. 入学準備金などの就学援助の改善について
2. 学校給食費無償化について
3. 市独自の高齢者・障がい者福祉について
4. 高すぎる国保税の引き下げについて

遠藤 敏信

1. 測量遺産塩野原基線について
2. 市道にかかる橋について
3. 高齢者の運転免許返納について



小 関 淳 議員

より良い市民の暮らしを支えるために

◎市民福祉を向上させるには、市のさまざまな事業を組み合わせ、成果の出せる職場環境が重要となる。しかし、近年、体調を崩したり、中には亡くなったりする職員も出ている。法令では、労働安全衛生委員会の毎月開催が義務付けられているが、年に3回だけの開催だ。今後はどのようにして「いきいきと働ける職場環境」にし、職員の健康を守っていくのか

市長 安全衛生委員会のこれまでの運用は、定期的な開催は年3回とし、特に審議する必要がある案件が生じた場合は随時開催するとしており、安全衛生や健康管理に関する情報について職員に伝えるなどしております。今後においては、毎月協議する機会を設け、職員の安全衛生・健康

に関する情報と意見を交換する庁内組織として、一層充実した運営を図ってまいります。メンタルヘルスに関しては、これまでに安全衛生委員会等で検討してまとめた「職場復帰支援プログラム」を再検討し、制度を高めていくことを考えております。さらに、研修に関しても各級の職員を積極的に派遣してまいります。今後においても、職員の心身の健康維持と職場の快適な環境づくりのための取り組みと、悩みを抱える職員の相談体制について、これからも一層充実させていくものと考えております



やまがた里山サミットとやまがた森林ノミクスの連携について



今 田 浩 徳 議員

◎「緑の循環システム」を推進するための支援をどのように考えているのか伺います。

市長 大規模集成材加工会社と木質バイオマス発電用チップ製造会社の進出により、素材生産量や原木供給量は現在よりはるかに上回ることが想定されます。このことから、森林所有者が森林組合や市内林業事業体と連携を図りながら供給体制を構築していくことが重要となってまいります。木材価格の低下や代替わりにより、現在多くの森林所有者の森林を管理する意識や関心が薄れてきている状況において、緑の循環システムを円滑に運営するために森林経営計画の策定による森林組合等との施策の共同化や県の補助制度を活用した再造林支援を行ってまいります。

◎森林活動による教育との連携によるふるさと学習の取り組みや地域活性を支える担い手育成の考えを伺います。

教育長 小中学校、義務教育学校の教育課程において様々な形で環境教育（学習）が行われておりますが、より身近な地域について学ぶ「ふるさと学習」が各校で行われております。具体的には森林組合等から詳しく木の説明をいただいたり、専門的に森林についての興味・関心を持つ活動を行っております。今後もキャリア教育等の中で、環境に関する企業や農林大学校とも連携しながら進めてまいりたいと考えているところです。



住んで幸せを感じる市政に



小嶋 富 弥 議員

◎県立新庄病院の移転改築が決まったことは、市民生活の大きな朗報ですが、地域の看護師不足が深刻です。市長の英断による看護師養成機関の開設手順、スケジュールを伺います。

市長 看護師養成機関を開設するまでには、教員の確保、教育理念の検討、実習受入施設の確保、各種許可手続き、施設的设计・建設と段階を踏んで進めていかなければならず、これまでの検討により準備段階から3年はかかると考えております。また、このプロジェクトにつきましてもは民間の力もお借りしながら、官民協働による体制で準備を進めていきたいと考えており、その中で、ある程度のスケジュールの目途が立ちましたら報告させていただきます。

思います。

◎沼田小学校の老朽化対策と合わせて明倫中学区義務教育学校建築の事業が進捗しています。地域に寄り添い、保護者のお母さんの声もしっかり伺い、計画を進めて頂きたい。

教育長 今年度策定した「明倫学区小中一貫教育校基本構想」に基づいて、来年度は基本計画の策定を行います。基本計画の策定に当たっては、推進委員会と同様に地域の方々や学校関係者から参加いただき、新たな策定委員会を組織しその中で協議を行ってまいります。その過程において、建築基本設計を進めていく施設や設備などのハード部分や、新たな学習指導要領への対応の研究につきましても、情報交換を踏まえつつ進めてまいりたいと考えております。



企業の元気は、まちの元気



叶内 恵子 議員

◎リーマンショック前に比べ、市内総生産額の減少額は123億円です。その後の回復の兆しは見られません。その状況をどのように分析し、今後の地域経済活性化のための施策を展開していくのかお伺いします。

市長 本市において、平成26年度の経済成長率は0.1%マイナスという結果になっております。製造品出荷額は回復の兆しが見られますが、雇用面における企業側の人材確保については厳しい状況となっております。市として地域経済活性化施策としては、中小企業、工業、商業の振興対策としての各種支援や、金融機関、信用保証協会と連携し中小企業等に対する制度融資などの経営支援を行っています。今後とも産

学官金及び関係機関と連携を図りながら継続して支援してまいりたいと考えております。

◎発達障がい等により、学校での学習が遅れがちな児童生徒の早期支援を行うために5歳児検診が必要と考えます。市の考えをお伺いします。

市長 「発達障がい」のある児童・生徒の支援や対応については、これまでも力を入れて取り組んできたところで、特に、乳幼児期から義務教育へ向けた支援



が必要になってきますので、養護主事を配置して対応したり、民間施設の保育士から直接、保健師に連絡をもらい、今後の対応を相談できる体制をとっています。「発達障がい」への対応は、早い段階からの関わりが重要となりますので、出産後の赤ちゃん訪問に始まり、1才6か月健診、3歳児健診などで保健師が関わり、確認をしながら、保護者のメンタル的な支えを含め継続的な支援につなげていきます。今後におきましては、保育所、幼稚園、学校など行政が連携し、導入時期を探ってまいりたいと考えております。

受動喫煙防止対策を問う



高橋 富美子 議員

◎「受動喫煙」とは他人が吸うたばこの煙を吸わされることです。その事が原因と推定される死亡者は年間1万5千人と言われています。本市における受動喫煙防止対策についての取り組みを伺います。

市長 受動喫煙防止対策ということですが、本市においても健康被害の影響を考え、様々な対策に取り組んでおります。市が管理する施設では県の基準で100%を達成しているほか、国・県の公共施設においても各機関の方針に基づいて対策に取り組んでいるところとです。今後においても、市報等での周知や、事業を通じて啓発を行いながら受動喫煙の防止の大切さ、それが健康増進に繋がることのメリットなどについて、市民の皆様の理解を深められるよ

う継続的に受動喫煙防止対策を進めてまいります。

◎たくさんの方の手により継承されてきた「最上伝承野菜」をこれからも繋いでいくための取り組みと課題等について伺います。

市長 最上伝承野菜とは、最上地域特有で概ね昭和20年以前から存在していた野菜・豆類とし、現在30品目が認定されています。現在組織されている最上伝承野菜推進協議会において、生産から流通、消費・販売などの諸課題や推進方策を検討し、普及啓発を行い地域経済活性化に資することを目的として知名度向上等の活動を展開しております。今後においても更に、体験イベントや学校給食などの食育を拡充し、また加工商品化による販路拡大や飲食店利用の拡大を図ることで、消費拡大とともに地域の宝であるという認知度を高め、保存・伝承に努めてまいります。



高い国保税、納めれば生活困窮に



佐藤 悦子 議員

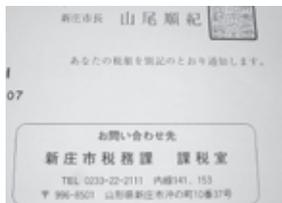
◎40歳の夫婦で持家なしで年収240万円の世帯の国保税は、年32万円だ。国保税を納めれば、生活費は月14万円です。生活保護基準に匹敵する。国保基金額は1億9,800万円となっている。高すぎる国保税の引き下げは、出来るのではないか。

市長 各市町村で運営している国民健康保険制度において、高齢化の進行や医療の高度化などで一人あたりの医療費が増加し、個人の負担額も増加しております。これらを踏まえ、県単位での制度改正を含めた法律が改正され、平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の主体として中心的な役割を担うことで国民健康保険制度の安定化を図るとされました。しかしながら、国保の制度化が非常に遅

れているなかでの市町村の対応となりますので、現在のところ引き下げについては検討しておりません。財政支援については市長会などを通して要望しているところですが、今後においても国保の動向を注視しながら進めていきたいと考えております。

◎障がい者や高齢者が、車の運転にこだわらなくても暮らせるよう、タクシー券補助の拡充が必要では。

市長 タクシー券補助の拡充ということですが、現在、当市では、身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級といった、重度の障害を持った方々を対象としてタクシー券を支給しております。また、29年度には身体障害者手帳3級の一部の方までの拡充を予定しております。一方で、運転免許証を自主的に返納したくとも自家用車に代わる移動手段の整備が不十分な地域では返納できない高齢者の方々が居ることは存じてございます。今後、「地域公共交通網形成計画」の策定を進めていく予定としており、この策定に併せて障がい者・高齢者を含めた交通弱者への対応策についても検討していきたいと考えております。



遺産の価値を減じないよう協議をしたか



遠藤 敏 信 議員

◎測量遺産「塩野原基線」はやがて工事が進む東北中央自動車道と交差する。遺産の価値を減じないよう、国土交通省に働きかけをしていたのか。

市長 塩野原基線は、全国で唯一、明治時代に基準点が設置された当時の4メートルの鉄の棒を使って距離を測ることができると認識しております。この基線は市道昭和6号線上にあり、昭和一年度の東側で東北中央道の泉田道路と交差する計画となっておりますが、関係機関での協議において、



基準点や基線の測量に支障がないことから測量遺産としては影響がないと判断されております。しかしながら、防雪柵等の道路付属物により見通しが遮られる可能性もあることから、今後、国土交通省と協議してまいりますと考えております。

◎特に高齢者への運転免許証の自主返納を促す動きがある。市として、返納者の足を確保するサポート策は考えているのか。

市長 全国的に高齢運転者による交通事故が社会問題となっており、現在各地において運転免許証の自主返納という運動が少しずつ広がりを見せているところです。今後、益々高齢社会が進展していくことが予想されることから、運転免許証を返納した方を含めた交通弱者への対応として、公共交通網の整備を図って参りたいと考えております。今後策定される計画に併せて高齢者の運転免許証自主返納を促す施策の検討や、運転免許証の自主返納しやすい環境を整備していきたいと考えております。

産業厚生常任委員会 出荷施設を視察

2月9日、産業厚生常任委員会は9名の委員全員の参加のもと、現地調査を行いました。

- 1、JA新庄市の資材倉庫での冬野菜の出荷場。ウルイ、ふきのとう（春音）が搬入されていました。部会長は「周年農業確立のため、力を貸してほしい」とあいさつの中で述べておりました。
- 2、若者園芸実践塾を訪問。28年度は4名の塾生で事業を行い、当日はトルコギキョウの播種作業を行っていました。青年農業者の育成を目的に平成7年から16年までの10年間で、39名の塾生を輩出し、その多くが新庄市の中核的なリーダーとして農業に就いています。平成17年度に一時休止になりましたが、平成22年にエコロジージャーデンを拠点に現在の場所で再開しています。
- 3、JA新庄・もがみ北部営農センターを視察。段ボール箱詰めにされた、ウルイ、たららの芽、ふきのとう、シイタケ、根みつば、わさび菜、春菊などが、栽培農家により搬入され、出荷を待っていました。

冬場、雪のハンディで農産物の生産は滞りがちでしたが、山菜の促成栽培などでの新しい展開が始まっていると思った次第です。



人事案件

3月17日の定例会最終日に同意した教育委員会教育長を紹介いたします。（新任）

新庄市教育委員会教育長

新庄市大字鳥越

997番地の33

高野 博 氏

3月3日の定例会初日に同意した人権擁護委員を紹介いたします。（再任）

新庄市人権擁護委員

新庄市中道町13番地の5

荒川 静江 氏

議会改革推進委員会検討経過

第8回	平成28年 12月22日(木)	・政務活動費の公開について
第9回	平成29年 1月13日(金)	・政務活動費の公開事項について ・公開年度の決定について ・条例等の改正について
第10回	1月26日(月)	・政務活動費の交付時期について ・平成27年度分領収書提出様式の状況について ・平成28年度分領収書提出時の注意事項について ・ホームページ公開の時期について

「議会改革推進委員会」のこの1年

・この委員会は新庄市議会基本条例の第16条を設置根拠として重要な位置付けとなっております。

現在、地方分権による議会本来の在り方の認識や、住民に開かれ住民と共に歩む地方議会の確立、議員のモラルの構築等、大きな課題への取り組みと修正を図る時期を迎えています。それを受けて、当委員会では中でも全国的にも大きな話題となった「政務活動費」について検討を重ねてきました。

用途の明確さや透明性を公表し、住民に誤解を受けない事に重点を置き検討・審査した結果、従来の情報公開制度と並行してホームページによる用途状況の詳細公表（6月頃予定）を決定しました。これにより、「政務活動費（補助金）使い切り体質から、最少経費で最大効果を目指す議員活動への住民監視の大きな契機」になることとなります。

今後も、まだまだ山積している課題解決に向けて推進してまいりますので市民の方々の注視を期待いたします。

【議会改革推進委員長 山科 正仁】

政務活動費の報告

	政務活動費(円)	支出(円)							残額(円)	
		調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	その他の経費	支出合計	返納額(円)	
起新の会(3人)	540,000	427,579		93,751			18,670	540,000	0	
市民・公明クラブ(5人)	900,000	563,006	5,000			20,500	6,328	594,834	305,166	
穆清会(3人)	540,000	335,115	125,000			26,870	8,612	495,597	44,403	
絆の会(4人)	720,000	559,820				20,000	19,092	598,912	121,088	
無会派(佐藤悦子)	180,000	600	145,652			33,748		180,000	0	
無会派(星川 豊)	180,000								180,000	
無会派(叶内恵子)	180,000		176,400		3,600			180,000	0	

※返納額とは、政務活動費（補助金）を有効使用した結果、残額が発生した場合に補助金を返金することです。従来この返金が、0円または極小であったために「使い切り体質」が指摘されておりました。

00万円に決定

【歳入】

ふるさと納税

Q 本年度10億円の寄付と見込んでいるが、どのように新庄を発信していくのか？

A 新たな商品開発や6次産業化商品についても、積極的にPRしていきたいと考えています。

土木費国庫補助金

Q 過去3年間の交付状況について伺う

A 要望額に対する交付額は年々減少傾向にあります。原因としては、補助金という形から社会資本交付金という形に変わり、維持補修（長寿命化）も補助対象となったにもかかわらず、国の交付金の枠が拡大していないことが原因と考えます。今後、国の動向を勘案し枠の拡大を要望してまいります。

財産収入

Q 市有地貸付の管理で、周辺住民からの苦情に対して対策はどうなっているのか

A 賃借人に管理を助言し、景観等も含め近隣のご意見も伺いながら管理を行ってまいります。

がん検診等個人徴収金

Q 検診の個人負担の設定はどのようになっているのか

A 胃がん2000円、大腸がん800円、子宮頸がん2100円と設定しており、特定健診を含めて健康増進対策に取り組んでいるところで

【歳出】

新庄ハーフマラソン大会

Q どれぐらいの規模で、企業や市民の協力を得てどのように取り組むのか

A 参加者1000人程度を見込んでおり、企業からの協賛金を募り、市民ボランティア等200人以上と関係団体が一丸となって取り組み、成功させたいと考えております。

ふるさと納税

Q 目的指定の寄付金をどのように活用しようとしているのか

A 寄付者の使途希望が多い順としては、医療・福祉、教育、スポーツとなっており、分野ごとに割り振っております。

塵芥処理事業

Q 市指定ごみ収集袋の適正な在庫管理はなされているのか

A 年1回の発注で、年4回の納入を行っており、監査委員からの在庫管理監査をいただき、適正に管理しております。

多面的機能支払交付金

Q 長寿命化に係る部分は平成29年で終了するが、交付時期や事業の繰り越しはどう考えているか

A 長寿命化の事業を繰り越す形で実施できないか、県を通じ国に確認していきたいと考えております。

除排雪事務委託

Q 降雪観測地点が現在3か所となっているが充分であるのか

A 「新庄市雪とくらしを考える連絡協議会」からの答申では、降雪センサーだけに頼らない人的判断も組み入れた除雪出動体制がうたわれております。ご指摘の、降雪観測地点については、3カ所でも十分なのか、現在の設置場所が適当であるかについて再度検討してまいります。

平成29年度一般会計予算案は、

総額

157億6,3

新庄まつり振興事業

Q ユネスコ登録による今後の観光への活用取り組みはどのように考えているか

A 県内外のエージェント（代理人）または仲介者を活用してツアーの作成、また新庄まつりを下支えしてくださっている福祉施設の方々達にもユネスコの登録になった年にお招きし、記念事業として行いたいと考えています。

文化財保護管理事業

Q どのような考えの基に予算計上されているのか

A 亀綾織の運営が困難になる懸念、また重要文化財の老朽化対策のために今から進めるべきと考えております。

タクシー費助成

Q 対象障がい者範囲をどこまでと考えているか

A 身障者3級まで拡大し、視覚障がい、移動障がいの方々が対象となり、あわせて159名を予定しております。

新庄そばまつり

Q 開催による新庄市のPR効果はどの程度あったか

A いろいろな形を考えながら、関係団体との連携を図り、さらにイベント参加の機会を捉えてPRしていきたいと考えております。

南東北インターハイ負担金

Q 市民への周知と有効なPR方法はどのように考えているか

A 新庄はバドミントン競技の会場ですが、パンフレット作成等により周知を図っていく考えであります。

在宅老人福祉事業

Q 事業内容の詳細を伺う

A 老人クラブ33団体、前年比団体、会員ともに減少しており、補助金も減少傾向となっております。

防災対策推進事業

Q 備品購入の詳細と今後拡充する考えを伺う

A 年次計画をたてて整備しており、集中管理をしています。アルファ米・ストーブなどを優先しています。

児童福祉費

Q 認可外保育乳幼児を平成29年度より0人とする計画の整合性と今後の支援・補助の方向性を伺う

A 認可外施設を廃止するものではなく、新制度への移行の過渡期であ

り移行完了までの間の運営に係る財政支援については継続する予定です。

衛生費

Q 合併処理浄化槽の今年度補助予定件数を伺う

A 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金については48基、県補助の浄化槽整備促進事業費補助金が30基を予定しております。

小学校費

Q 旧萩野小学校校跡地利用についての協議進捗状況を伺う

A 解体・撤去をあわせて利活用の協議をしてみました。今後も地区の声や跡地利用検討委員会の意見を尊重して対応していきます。

総務管理費

Q 大蔵村村営バス利用負担金の積算根拠を伺う

A 距離割割を取り入れ、大蔵村と市が2対1の負担割合として積算し、国の補助金もしくは地方交付税を充当していくと考えます。

社会教育費

Q 雪の里情報館の外装改善工事について、必要性を伺う

A 至急の点検と対応を考えております。

3月定例会で審議された議案等

※全会一致で決定したものです。

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第1号	新庄市土地開発公社の経営状況の報告について	了承
諮問	第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案	第1号	山形県市町村職員退職手当組合理約の変更について	可決
	第2号	新庄市個人情報保護条例等の一部を改正する条例の設定について	可決
	第3号	新庄市市営バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第4号	財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第5号	新庄市看護師等修学資金貸与条例の設定について	可決
	第6号	新庄市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第7号	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第8号	新庄市屋内ゲートボール場設置及び管理に関する条例を廃止する条例の設定について	可決
	第9号	平成28年度新庄市一般会計補正予算（第6号）	可決
	第10号	平成28年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	第11号	平成28年度新庄市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第12号	平成28年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	第13号	平成28年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	第14号	平成28年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第15号	平成28年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	第16号	平成28年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第17号	平成28年度新庄市水道事業会計補正予算（第3号）	可決
	第19号	平成29年度新庄市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	第20号	平成29年度新庄市交通災害共済事業特別会計予算	可決
	第21号	平成29年度新庄市公共下水道事業特別会計予算	可決
	第22号	平成29年度新庄市農業集落排水事業特別会計予算	可決
	第23号	平成29年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計予算	可決
	第24号	平成29年度新庄市介護保険事業特別会計予算	可決
	第26号	平成29年度新庄市水道事業会計予算	可決
	第27号	新庄市教育委員会教育長の任命について	同意
	第28号	平成28年度新庄市一般会計補正予算（第7号）	可決

議案に対する議員の賛否

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。
○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会派名	起新の会		市民・公明クラブ				穆清会		絆の会			会派属さない議員			採決結果			
		佐藤義一	石川正志	小嶋富弥	小野周一	山科正仁	佐藤卓也	高橋富美子	下山准一	小関淳	遠藤敏信	奥山省三	森儀一	今田浩徳	清水清秋		新田道尋	佐藤悦子	叶内恵子
議案第18号	平成29年度新庄市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第25号	平成29年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
請願第1号	「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める意見書の提出について	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	-	●	○	○	○	不採択

※議長は採決に参加しません。

※原案のとおり採決することについての賛否を諮っています。（新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則）

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願	山形市大字門伝字裏城1 農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹 新庄市十日町693 五十嵐 成生	星川 豊 叶内恵子 小関 淳	不採択

平成29年度新規事業

平成29年度

「まちづくり総合計画」
新規重点プロジェクト

道の駅基本構想策定事業

3,888万円

園芸王国やまがた産地育成事業

1,941万円

除雪管理システム導入事業

1,660万円

地域公共交通網形成計画策定事業

917万円

新庄シティーハーフマラソン

大会開催事業

720万円

明倫学区義務教育学校建設事業

7,061万円

明倫学区義務教育学校併設

放課後児童クラブ整備事業

245万円

若者世帯住宅取得支援事業

2,000万円

看護師育成修学資金支援事業

120万円

など新たな事業が今年度実施されます。

旧農林省蚕糸試験場 新庄支場保存活用計画の 策定について

この計画は、文化庁の補助事業の採択を受けるため、同庁の示す構成に従い協議を行って策定しました。今後は、平成29年度中に第5蚕室まゆの郷の基本設計や実施設計業務を行います。また、平成30年度以降は年次計画に基づき、耐震補強と公開活用のための改修工事を実施していく予定です。

道路除雪による雪寄せ場に係る固定資産税減免制度の創設について

山形県内初となる道路除雪による雪寄せ場を対象とした固定資産税の減免制度を創設し、新たな雪寄せ場の確保を促進し、道路除雪の円滑化を図るために平成29年度から適応することとしました。その条件として、都市整備課が道路除雪による雪寄せ場として利用可能であると認定した土地で、無料で使用できる宅地または雑種地を対象とします。対象期間は通常の降雪期である12月から翌年3月までの最大4か月であり、減免税額は、4か月間減免となった場合、固定資産税年額の最大3分の1減免されるものです。

行政視察報告

○日時

平成29年1月20日(金)

～21日(土)

○内容

ふるさと応援隊の方々との新年交流会(東京都千代田区)

山形県選出国会議員との情報交換会

○参加者

今田浩徳 清水清秋
新田道尋 森 儀一

(議席順)

ふるさと応援隊新年会参加に合わせ県選出参議院議員2名の事務所に向い舟山参議院議員及び農林水産省専門官より経営所得安定対策の概要や、現状と今後の動向について詳しく説明を受けました。

江戸家老企画から新たにふるさと応援隊との交流会は200名を越える参加者があり、中学校単位でのテーブル設定のおかげで地区の話に花が咲き、楽しいひと時を過ごすことができました。今後多く参加者となる様、新庄のPRを含め当市につながる企画を進めてほしいという言葉をたくさんいただきました。次回に期待します。



行政視察報告②

市民・公明クラブ

1. 視察日程

平成29年1月20日～21日

2. 調査事項（視察先）

- (1) 加藤鮎子衆議院議員・大沼瑞穂
参議院議員との会談

- (2) アンテナショップ「やまがた最上」「おいしい山形」視察

- (3) ふるさと応援隊新年交流会

3. 視察参加議員

小野 周一 下山 准一
高橋富美子 佐藤 卓也
山科 正仁

■ 所感

加藤鮎子衆議院議員と大沼みずほ参議院議員秘書とお会いし、新庄市の現状報告と今年も含め二年間少雪でしたが、除排雪問題や全国的にも問題になっている少子高齢化問題の深刻化、(移住・定住問題)、U・J・ターンへの補助、高速道路整備の加速化を含めたインフラ問題、文化財保護対策など多岐にわたる意見交換を行いました。新庄市において様々な課題を一緒に共有していただき、課題解決に向けて要望を行いました。東京都新宿区歌舞伎町にオープン

した「やまがた最上」は真室川町・金山町・戸沢村・鮭川村の管内で「もがみ北部商工会」が開設しました。最上伝承野菜やつや姫などの独特な食材や山菜や川魚を使った郷土料理を提供するアンテナショップで、民芸品や木工品なども販売されており、最上地域の魅力を発信しております。どのような手法が効果的で且つ有効的な情報発信が出来るかを、今後とも研究していきたいと思えます。



1. 研修日程

平成29年2月24日(金)

2. 研修事項

新庄市の歴史

3. 所感

「新庄まつりの山車行事」が「山・鉾・屋台行事」として「ユネスコ無

形文化遺産」に登録されました。この登録を機に、もう一度新庄市の歴史を正しく認識するため元新庄市生涯学習課長、現新庄市文化財保護審議会委員の三浦和枝氏を講師として呼びし、研修会を行いました。

歴史の研修を行うにあたり、まずは新庄市の全体の歴史を学ぶこととしました。新庄近辺が西暦737年(天平9年)には国史に現れており、その頃からこの地に人が住み、今に続いていると言ったことがとても驚きました。今後も、新庄市の歴史を勉強していきたいと思えます。

研修報告

会派に属さない議員

議員研修報告

佐藤 悦子

1. 研修日程

2月13日(月)～2月14日(火)

2. 研修事項

2017年度予算と直面する政策課題 — 介護・保育・教育 —
(東京都立川市)

■ 報告

たましんR・I・S・U・R・Uホール
首都大学の荒井文昭先生による学校統廃合についての内容を特にご

に報告します。

小中一貫校・学校統廃合は、財務省が「教育にかかるコスト縮減」といい、総務省が「人口減少に合わせ公共施設削減」ということで加速したものです。安倍政権は学制の改革として小中一貫の義務教育学校を法律化しました。そのとき、衆議院の委員会では「学校は、地域のコミュニティの核としての性格を有するもの。安易に統廃合を行わないこと。」と付帯決議。文部科学省もほぼ同じ観点でさらに「小規模校のメリットを最大限生かして」としています。



こたえ 市長の応え 議会報告会での市民要望に対して



第9回の議会報告会で寄せられた市民要望を議会の総意として、市長部局に届けたところ、次のような回答がありましたのでその一部を紹介します。

- 熊本の地震では罹災証明書の発行が遅れたという。新庄でも不慮の災害を想定し、行政の対応の充実を図るために、若手職員の研修を実施してほしい。

A.⇒「新庄市地域防災計画」を策定し、市職員は職員配備計画に従って行動し、業務にあたるとしております。

また、災害に対する日頃からの備えと、職員研修の重要性は強く認識しております。研修については、災害時の業務継続に関して行われる様々な研修の機会を捉え、内容を精査しながら、職員を派遣していく考えであります。

- 自主防災組織の組織率が依然として低い。とても重要な役割だということを地域住民に自覚・理解してもらうことが大事だ。それぞれの地域でつながりを深めるための仕掛け作りが大切だと思うが、市としてもより一層啓蒙活動に取り組んでもらいたい。

A.⇒自主防災組織の組織率は平成29年3月現在で43.2%となります。これは自主防災組織の必要性を各町内で理解していただき、また、市民の防災組織が向上した結果であると考えます。今後も防災についての啓蒙活動を図り、自主防災組織の設立促進は勿論、既設の組織の活動促進にも努め、災害へ備えてまいります。各町内へ職員が赴いての説明会や出前講座、自主防災組織の資機材整備に利用できる補助金を用意しておりますのでご利用ください。新たに、自主防災組織連絡協議会を設置し、組織間の情報共有を図ります。

- 大石田町ではNTTと提携しゴーグルを着用すると火花が見られるアプリがあるという。新庄でも8月24日の山車の夜祭が見られる仕掛けづくりに取り組んでほしい。

A.⇒市内映像会社の協力を得て、スマートフォンアプリ「arisar（アライザー）」により新庄まつりのチラシ、ポスターにかざすと昨年の中庄まつりの動画（7分間）を見ることができます。また、ユーチューブを活用した新庄まつりのLIVE配信（生中継）も行っており、この新庄まつりの動画は現在も市ホームページから見ることができます。今後もユネスコ無形文化遺産である新庄まつりの熱気や感動を伝えるに相応しい方法を検討していきます。

- ①間口に置かれた大量の雪に辟易する。何とかできないか。

A.⇒市道除雪で置かれた雪の処理は、隣接する市民の方をお願いしている状況にあります。降雪時には、置き雪の処理にご苦勞をお掛けしておりますが、市道除雪は通勤、通学に必要な路面状況を確認することを目的としております。後期高齢者、障がい者の方を対象に、玄関前の雪かきに対する支援制度もごございますので問い合わせください。

- ②国道13号沿い、双葉荘のゴミステーション脇の防雪柵については早急に対応をお願いしたい。国道沿いの玄関前除雪についても何とか対処してほしい。

A.⇒防雪柵については冬期状況を確認し、必要な設置範囲について予算を確保できるよう要求していきます。また、国道沿いの玄関前除雪については、限られた人員・機械・時間の中で冬期の円滑で安全な交通確保のために除雪作業を行っております。極力、除雪作業時に配慮して実施しているところです。ご理解とご協力をお願いいたします。

- ③私道の除雪時間について：市道に通じる私道の除雪を早い時間帯にしてほしい。でないと通勤に間に合わない。

A.⇒除雪機械の台数には限りがあるため、市道除雪が優先されることから、生活道路除雪が、午前7時30分まで完了していない路線も多々ございます。除雪機械の増強などにより、生活道路除雪も通勤通学時間帯まで完了するよう、機械の配備について検討してまいります。

- ④市道にかかる橋について。子供たちの通学路でもあるので歩道がほしい。現状は狭く、しかも老朽化している。点検の上、改善してほしい（鳥越新田橋）

A.⇒橋梁の補修については、橋梁長寿命化事業により、平成30年度まで新たな点検・診断を行い、老朽度の著しいものから修理することになっております。その診断結果を待って、新田橋の修繕時期を決定したいと考えております。歩道の増設については同事業で行うことはできないため、新たに交付金事業としての事業採択が必要となります。

- 平成26年10月に「本合海」は、奥の細道関連の地として国の名勝指定を受けたが、現在、案内板すらない。市の観光の目玉の一つにしてほしい。

A.⇒名勝「おくのほそ道の風景地（本合海）」を含んだ「本合海水辺プラザ」については、その有効活用のために地元の皆様を中心とした「本合海水辺プラザ管理運営協議会」が平成28年度に発足しております。地元の皆様と利活用についての検討を行ってまいりたいと考えております。

「議会のこといろいろ聞いてみよう！」

第10回議会報告会を開催します。

新庄市議会は、より市民の皆様との接点を充実させ、議会活動をより多くの皆様に理解していただくために、議会の取り組みを報告し、意見交換を行う「議会報告会」を開催しています。多くの皆様の参加をお待ちしております。

○報告会の内容

・平成29年3月定例会の議会報告及び意見交換

《お願い》報告会当日は、「しんじょう市議会だより No.136号」をご持参ください。

○開催日時と会場（担当班名簿）

ご都合の良い会場にご来場ください。

開催日	会場	担当議員	時間
6月1日(木)	新庄市民プラザ	A班	午後7時00分 ～8時30分 (午後6時30分開場)
	升形公民館	B班	
	萩野地区多目的研修センター	C班	
6月2日(金)	わくわく新庄	A班	
	山屋公民館	B班	
	角沢公民館	C班	
6月5日(月)	萩野地区公民館	A班	
	八向地区公民館	B班	
	中山公民館	C班	

A班	遠藤 敏信 (班長)、新田 道尋、高橋富美子、小嶋 富弥、佐藤 卓也、星川 豊
B班	佐藤 悦子 (班長)、小野 周一、今田 浩徳、奥山 省三、石川 正志、清水 清秋
C班	森 儀一 (班長)、佐藤 義一、小関 淳、下山 准一、叶内 恵子、山科 正仁



6月定例会の予定

6月9日(金)開会
 10日(土)休会
 11日(日)休会
 12日(月)一般質問
 13日(火)一般質問
 14日(水)常任委員会
 15日(木)常任委員会
 16日(金)休会
 17日(土)休会
 18日(日)休会
 19日(月)休会
 20日(火)最終日
 5月30日(火) 請願締切
 ※一般質問者数により若干日程が変わります。

あどがき

新年度がスタートしました。新庄市では4月から防災無線が稼働し、朝7時と正午に放送があるため、時報替わりに日常の暮らしに適度なリズムをもたらしてくれているようです。

毎年この季節になると条件反射的にこのフレーズが口をつきまします。『雪がとけて川となつて流れてゆきます。もうすぐ春です。ねえ。』キャンディーズが歌った「春一番」。この曲が40年前のものだということに驚きを覚えます。

季節はつららかな、いのち芽生えの春。みなさん、元氣でお過ごし下さい。

遠藤 敏信